

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年8月8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893100024		
法人名	医療法人社団 健晴会		
事業所名	グループホーム 温泉大洗	ユニット名	一階ユニット
所在地	〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町3446-8		
自己評価作成日	平成25年3月1日	評価結果 市町村受理日	平成25年7月12日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=0893100024-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年4月9日	評価確定日	平成25年6月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自然あふれる静かな環境の中、ホームでは、入居者様は思い思いに生き生きと生活されております。理念にそってその人らしく生活出来るよう、必要に応じて援助をし、出来る事を大切に、共に協力し合い、ひれあいながら楽しみのある生活を送れるよう支援しています

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

同一法人が経営するクリニックの全面的な支援のもと、利用者が安心して暮らせるよう24時間体制で適切な医療が受けられるように支援している。
近くの源泉から運んだ温泉水を使用した入浴のほか、季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を取り入れるなど、楽しみながら入浴ができるよう工夫をしている。
職員は年間計画にそってドライブを兼ねた花見や紅葉狩り、果樹園、近くの海岸など、利用者が自然を感じながら気分転換ができるよう外出支援をしている。
職員同士の仲が良く、連携を取りながら利用者寄り添って笑顔で支援をしており、明るく和やかな雰囲気のある事業所である。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「その人らしさを尊重し、地域の方々との交流を深め笑顔で健やかに過ごせるように支援致します」という理念にそってケアするよう努めている。	管理者と職員が話し合い、「その人らしさを尊重し、地域の方々との交流を深め笑顔で健やかに過ごせるように支援致します」という事業所独自の理念を掲げている。 職員は月1回の職員会議で理念を確認するとともに、理念の実践に向けて地域住民が気軽に事業所を訪問できるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を開催し、地域の方々との交流を深めるよう努めている。また、散歩や外出の際に、地域の方々との挨拶や会話を交わし触れ合っている。	職員は利用者が事業所の近くを通る小学生や中学生と挨拶を交わすよう支援するとともに、地域の祭りで山車が事業所前を通る際には利用者と一緒に見物するなど、地域に溶け込もうと努めている。 近隣中学校の職場体験学習を受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を開催し、ホームの持っている現在までに養った知識や経験を伝えるよう努めている			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	写真や資料を用い、日頃の取り組みを説明させていただいている。 役場の方や民生委員の方の意見や考えを参考として、日々のケアにいかしている。	町職員や町内会長、民生委員が出席する運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、事業所の入居状況のほか、行事实施結果や外部評価結果などを報告するとともに、委員に対して防災訓練への参加を要請している。 会議で出た感染症並びに食中毒予防に関するアドバイスを基に、管理者は殺菌用洗剤を常備したり、マスク着用を徹底するなどの対策を講じている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	役場の介護保険課の方との連携を深めるよう努め、必要な書類等の提出や運営推進会議を通じて、情報の提出や意見の交換を行い、サービスの向上に努めている。	管理者は利用者の要介護認定や事業所の指定更新に関わる書類を町担当者に届けたり、介護保険制度改正についての説明会に出席する中で、町担当者に事業所の入居状況やケアサービスへの取り組み姿勢を伝えている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベッド策の使用をしない事などはもちろん、入居者様それぞれが自由に暮らせるよう、心がけてる。玄関のカギに関しては、ホームが道路に面している事もあり、施錠させていた	身体拘束廃止に関する方針を策定しており、職員は月1回の職員会議において身体拘束の弊害などを話し合っている。交通量が多い道路に面した玄関から、一人で外出する利用者への安全確保が必要という理由で、玄関や居間の掃き出し窓を施錠しているが、経過記録を残すまでには至っていない。	身体拘束実施にあたっては、拘束の様態や利用者の心身の状況、緊急やむを得なかった理由などを記載した経過記録を残すとともに、玄関に鍵をかけるなどの身体拘束の弊害について全職員で共有し、身体拘束をしないケアに向けて取り組むことが望まれる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを作成し、勉強会を行い、知識や理解を深める事で防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルを作成し、勉強会を開き、制度について学び、理解を深めるよう努めている。必要に応じて、活用していきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際に丁寧に説明するように心がけ、疑問点等解消されるまでお話させて頂き、納得が得られるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が面会に見えた際、管理者が対応し、直接お話ししたり、玄関に意見箱を置くなどしている。	管理者は玄関に意見箱を設置するとともに、家族等の来訪時に世間話などをして、リラックスした中で意見や要望を聴くように努めるとともに、「ドライブを兼ねて外出したい」との利用者の要望を受け、馴染みの観光地へのドライブを行事に取り入れている。 昨年度の外部評価結果で目標達成計画として取りあげた無記名のアンケートを実施するまでには至っていない。	無記名のアンケートなど、利用者や家族等からの更なる意見や要望の吸いあげに工夫することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員とのコミュニケーションを図るよう心がけるとともに、申し送りや会議、交流会にてスタッフの意見を聞き、反映させている。	管理者は休憩時間や懇親会などの際に、職員と積極的にコミュニケーションを図るよう努めており、職員から提案があった食卓の椅子を、回転椅子から固定椅子に変更することにより、利用者の転倒防止につながったり、日課変更に関する提案を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	交流会を開き、スタッフが意見を言いやすい環境を作っている。また、就業規則をスタッフがいつでも見る事が出来る場所に置いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への積極的な参加を勧めるとともに、資格取得を応援している。また、日々の中で、知識・技術の指導に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域の講習会に積極的に参加するよう取り組み、同業者や関係機関との情報交換の場とし、質の向上を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に対応して行けるよう、表情や言動、しぐさに気を配り、本人のペースに合わせ、ケアするよう心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居者様ご本人だけでなく、ご家族の話にも耳を傾け、不安を拭えるよう、丁寧に説明するよう心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居希望の理由や、心身の状態を考え、ご本人とご家族にとって、必要な支援を検討し、対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様それぞれが、得意分野での力を発揮して頂く事で、自信を持って生き生きと生活して頂けるように、家事や花の手入れなど、積極的に参加できる環境作りに努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に見えた際や電話にて連絡を取り合い、共に支援していく関係を築くよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	散歩やドライブにて馴染みの場所に言ったり、友人の方に面会に来ていただいたりしている。	利用者が馴染みとしていた海岸や公園での花見にドライブを兼ねて外出ができるよう支援している。 家族等の協力を得て墓参りのほか、親戚の法事や食事会のための外出、行き付けの理・美容院への外出を支援しているが、馴染みの人や場所の把握結果を記録に残し、全職員で共有するまでには至っていない。	利用者がこれまでに培ってきた人間関係や社会との関係の把握が、その人らしく生きるための社会資源となることを認識し、把握した結果を記録に残し、全職員で共有することが望まれる。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士、良好な関係を築けるよう、レクリエーションを取り入れたりし、スタッフが橋渡し役となるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても相談していただけるよう取り組んでいる。さらに相談しやすい環境作りに取り組んでいきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族やご本人から思いを聞き、また、困難な場合は表情やしぐさから察し、本人本位のケアをするよう努めている。	職員は家族等が来訪した際の話し合いなどから、利用者や家族等の思いや意向を把握するよう努めているが、把握した結果を記録に残し、全職員で共有するまでには至っていない。 思いや意向を表わせない利用者については、家族等から話を聴いたり、話し方や表情、しぐさなどから思いや意向を汲み取るよう努めている。	利用者や家族等の思いや意向の把握が、ケアの出発点であることを再認識し、把握結果を記録に残し、全職員で共有することが望まれる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族の方から生活歴やサービス利用についてお聞かせ頂き、スタッフの目の届く場所に保管し、把握に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方や心身の状態について記録し会議や申し送りにて情報を共有する事で現状の把握に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを通じて、情報を共有し、ご本人のニーズにそってケアが出来るよう努めている。	計画作成担当者は利用者を担当する職員並びに利用者や家族等の意見や要望を基に介護計画案を作成して職員会議で話し合い、医師の意見などを取り入れながら介護計画を作成している。 3ヶ月毎にモニタリングや評価を行い、利用者の状態の変化に即した介護計画を作成している。 利用者の心身の状態や家族等の要望が変化した場合には、目標期間にかかわらず、随時介護計画を見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践について個別に記録し、申し送りや会議にて話し合い、より良いケアを提供できるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同法人のクリニックと連携し、多くのニーズに対応できるよう取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	慣れ親しんだ地域の中で、本人らしく生活出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個人のかかりつけの医療機関を把握し、必要時には、ご家族と連絡を取り、迅速な受診を心がけている。	看護サマリーなどで利用者のかかりつけ医を把握するとともに、希望するかかりつけ医への受診を支援している。 家族等が付き添って受診する場合は、利用者のバイタルサインなどを記したメモを家族等に手渡し、適切な医療が受けられるように支援するとともに、職員や家族等がそれぞれに付き添って受診した場合には、互いに結果を報告し合っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同法人のクリニックの看護師と密に連絡を取り、適切な対応が施されるよう協力体制を築いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院のケースワーカーさんと連絡を取り合い、早期退院出来るよう努めている。近隣の病院との関係作りにも努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人やご家族の意見を大切にし、医師や看護師・関係各所とも連携を図り、考えを共有し支援するよう努めている。	重度化や終末期に向けた法人全体としての指針を基に、契約時に利用者や家族等に説明して同意を得ているが、事業所としての具体的な方針を作成するまでには至っていない。	利用者の重度化や終末期の対応のあり方について全職員で話し合い、事業所としてどこまで支援ができるかを見極め、目標達成計画に事業所としての重度化や終末期に向けた方針の作成を掲げ、契約時の説明と同意のみならず、看取り介護開始時にも説明して同意を得ることが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会を開き、知識、技術の向上に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練や勉強会を通じ、いざという時に対応できるよう努めている。地域との協力体制は今後強化していく必要がある。	消防署立会いの総合避難訓練と夜間想定自主避難訓練をそれぞれ年1回実施するとともに、それに併せて消火器など消防用設備の点検を実施している。 避難訓練結果を記録しているが、避難完了時間などの記載がなく、訓練で得た課題を明確に把握するまでには至っていない。 避難訓練への地域住民の参加など、地域との協力体制を構築するまでには至っていない。 災害に備えて食糧や飲料水、懐中電灯などを備蓄している	避難限界時間を把握するとともに、職員だけによる避難誘導の限界を認識し、地域住民との協力体制を早期に構築することが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の生活歴や性格の把握に努め、尊厳を損なわせることのないよう、丁寧に接するよう心がけている。	職員は職業歴などを参考にしながら、「時間をきちんと守りたい」など利用者一人ひとりの性格を尊重する中で、言葉かけや対応をしている。 プライバシー保護マニュアルを作成するとともに、年1回マニュアルにそった研修を実施している。 個人情報に関する書類は事務室のロッカーに保管するなど、取り扱いには十分注意をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	例えば、レクリエーションの際、何種類か用意し、好きな事をしていただいたり、スタッフが押しつけることのないよう心がけている。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や食事、排泄、行事やレクリエーションの参加等出来る限り、ご本人が意思決定出来るよう努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	さりげなく、くしや髭剃りを置いたり、おいたりし、おしゃれに興味を持つようにしたり、ご自分でやる事が困難な方に対してはお手伝いするようにしている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	家庭菜園にて野菜と一緒に育てたい、収穫した物を提供している。お膳を下げるなど出来る事はお手伝いいただいている。	献立や食材は宅配業者が準備したものとなっているが、利用者が職員と一緒に育てた自家菜園の旬の野菜を食材に加えたり、季節毎の行事食を取り入れ、食事が楽しみなものとなるよう工夫をしている。 利用者は職員と一緒におしぼりの用意や下膳、テーブル拭きなど、能力に応じた役割を担っている。 職員が利用者と同じテーブルを囲み、食事をするまでには至っていない。	家庭的な環境という観点から、利用者と職員が同じ食卓を囲んで同じものを楽しく食べるという取り組みに向けた話し合いを期待する。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	十分な水分量が摂取できるよう、様々な飲み物を提供している。状態に応じ、飲みやすいコップにしたり、トロミをつけたりと対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	それぞれの能力に応じ、ケアするよう努め、必要時には歯科受診している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を作成し、もれなくチェックする事で排泄パターンの把握に努めている。パットやオムツの使用については、ケアカンファレンス等を通じて見直すよう心がけている	職員は排泄チェック表により利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、時間を見計らって誘導したり、排泄サインを見逃さずに声かけをすることで、トイレでの排泄に向けた支援をしている。 利用者の排泄状況に合わせて、おむつ使用時間が短縮できるよう職員会議で話し合うなど、利用者一人ひとりの状態にそった支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘がもたらす日常生活への影響を重く促え、体操やレクリエーションを行い、身体を動かして頂くと共に病院と連携し、便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調や気分留意し、無理強いする事なく楽しく入浴できるよう努めている。	週3回午後からの入浴を基本としているが、一人ひとりの希望にそった入浴も可能となっている。 近くの源泉から運んだ温泉水を使用した入浴のほか、季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を取り入れるなど、楽しい入浴となるよう工夫している。 「寒いから入浴したくない」という理由で入浴を拒む利用者には、浴室を暖めてから改めて入浴を勧めるなど、無理強いせずに対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間を特に決めず、好きな時間に眠っていただくようにしている。また、日中、レク等により、活動的に過ごして頂く事で、夜間ゆっくりと眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報書をファイルにとじ、スタッフの目につく所に保管するとともに、薬が変わる際は、申し送りを徹底し把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の生活歴や好みを尊重し、一人ひとりの出来る事や能力を見極め日々の暮らしの中で力を発揮し、生活出来るよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の方にご本人の希望をお伝えし、外出や外食にご協力いただいている。また、年間行事等で、外出の機会をつくっている。	職員は年間計画にそってドライブを兼ねた花見や紅葉狩り、果樹園、近くの海岸など、利用者が自然を感じながら気分転換ができるよう外出支援をしているが、日常的に散歩や外出を支援するまでには至っていない。	前回の目標達成計画にも掲げているように、地域住民や認知症サポーターなどボランティアの協力も視野に入れながら、利用者の日常的な散歩や外出を支援することが望まれる。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理については、トラブル防止のため、ホームにて行っている。買い物等で金銭を必要とする時は家族と共にお出かけして頂けるようお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	暑中見舞いや年賀状を出す際に、字を書くのが困難な方には一緒にペンを持ち書いたり、代筆している。電話に関しても番号を押してさしあげたりし、対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の空間には明るく落ち着いた雰囲気を作り、季節の花を置き、毎日の掃除により、いつもきれいな清潔感のある場所となっている。	共用空間の一角に畳敷きのコーナーを設置するとともに、マッサージチェアやソファ、年代物のダンス、観葉植物を配置し、利用者が寛いで過ごせるよう配慮している。 和紙カバーをつけた天井照明にするなど、共用空間が柔らかく暖かい雰囲気になるよう工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアの中に畳の間があり、また、窓際に、椅子を配置したりと工夫し、その時の気分に合わせて、生活を送れるよう工夫している。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドやタンスは備え付けであるため、他のもので、馴染みの物があれば、ご家族に頼み持ってきていただいたりしている。	利用者は居室に馴染みの籐椅子やテーブルを持ち込むとともに、クローゼットの側面などにカレンダーや好きなタレントのポスターを貼ったり、壁に家族等の写真を飾り、自分らしい居室づくりをしている。 居室の一面が白色の壁紙という無造作な雰囲気となっており、温かい雰囲気を醸し出すまでには至っていない。	共同生活の中で個室の占める意味を考慮し、居心地よくゆったりと過ごせる居室づくりに向けた支援が望まれる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様が過しやすいよう、且つ、家庭生活として不自然にならないよう心がけている。例えば、風呂の入り口にのれんをかけたたり、逆にまぎらわしいものは置かないように配慮している。			

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの ○ 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム温泉大洗

作成日 平成25年7月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	ホームが道路に面しており、安全性の観点から、又、ご家族の要望もあり、玄関のカギの施錠をしている。	玄関のカギを施錠しない。	施設長、管理者、スタッフで話し合い、玄関を施錠せずに済むよう前向きに検討する。	1年間
2	10	無記名アンケートの実施が出来ていない。	無記名アンケートの実施	無記名のアンケートの実施に向けて、施設長と管理者で話し合う。	1年間
3	33	看取りの具体的な支援方法を明記していない。	看取りの具体的な支援方法を明記する。	事業所全体で出来る事と出来ないことについて話し合い、看取りの具体的な支援方法を明記し、契約時に利用者や家族の同意を得るよう努める。	1年間
4	35	避難訓練に近隣の方の参加がない。	地域の方々に、避難訓練に参加して頂く。	地域の民生委員などを通じて、近隣住民の方に避難訓練の参加をお願いする。	1年間
5	49	日常的に外出したり、地域への行事の参加が出来ていない。地域の協力が得られていない。	地域の方々の協力を得て、外出の機会をふやす。	地域の民生委員などを通じて、地域住民や認知症サポーターから外出の支援をえられるように努める。	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。